

「山手通り」の遊歩道公園としての整備について（継続）

江戸時代にはすでに堤村から下久方村までを結ぶ道路として存在していたと云われる「山手通り」は、ファッションタウン桐生推進協議会主宰の「2001わがまち風景賞」にも選定されるなど、大変に趣のある通りであります。

特に美和神社を起点として西久方町方面に伸びる約200mの歩道には、往時をしのばせる水路、石造りの欄干も現存しており、周りには桜・柏などの樹木も多数あることから、四季折々の風情を楽しむこともできます。また、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区、桐生が岡動物園・遊園地から歩ける距離にあり、これらと一体化した観光コースを設定することは観光客誘致による活性化にもつながることと思われまます。

以上の理由により、また、現存部分が多く残っており、費用もそれほど要しないと思われることから、山手通りの遊歩道公園としての整備につきまして、早急に取り組んでいただきますよう要望いたします。

桐生市からの回答

「山手通り」の遊歩道公園としての整備につきましては、桐生が岡動物園・遊園地から桐生新町伝統的建造物群保存地区への回遊性を高めるため、令和元年度には美和神社・西宮神社周辺の歴史的風致の維持向上を目的とした設計委託を行うとともに、歴史まちづくり推進協議会やワークショップを開催し、地域の皆様の意見を伺いながら、歴史的景観に配慮した整備事業を進めております。

令和2年度からは、藤棚広場の整備及び山手通り歩道的美装化「景観に配慮した舗装や水路脇に転落防止柵及び足元灯の設置・石造りの欄干の補修」を予定しております。

[回答担当] 都市整備部都市計画課歴まち・街路係